

令和 5 年度 決算説明資料

令和 6 年 10 月 9 日
住宅都市局

目 次

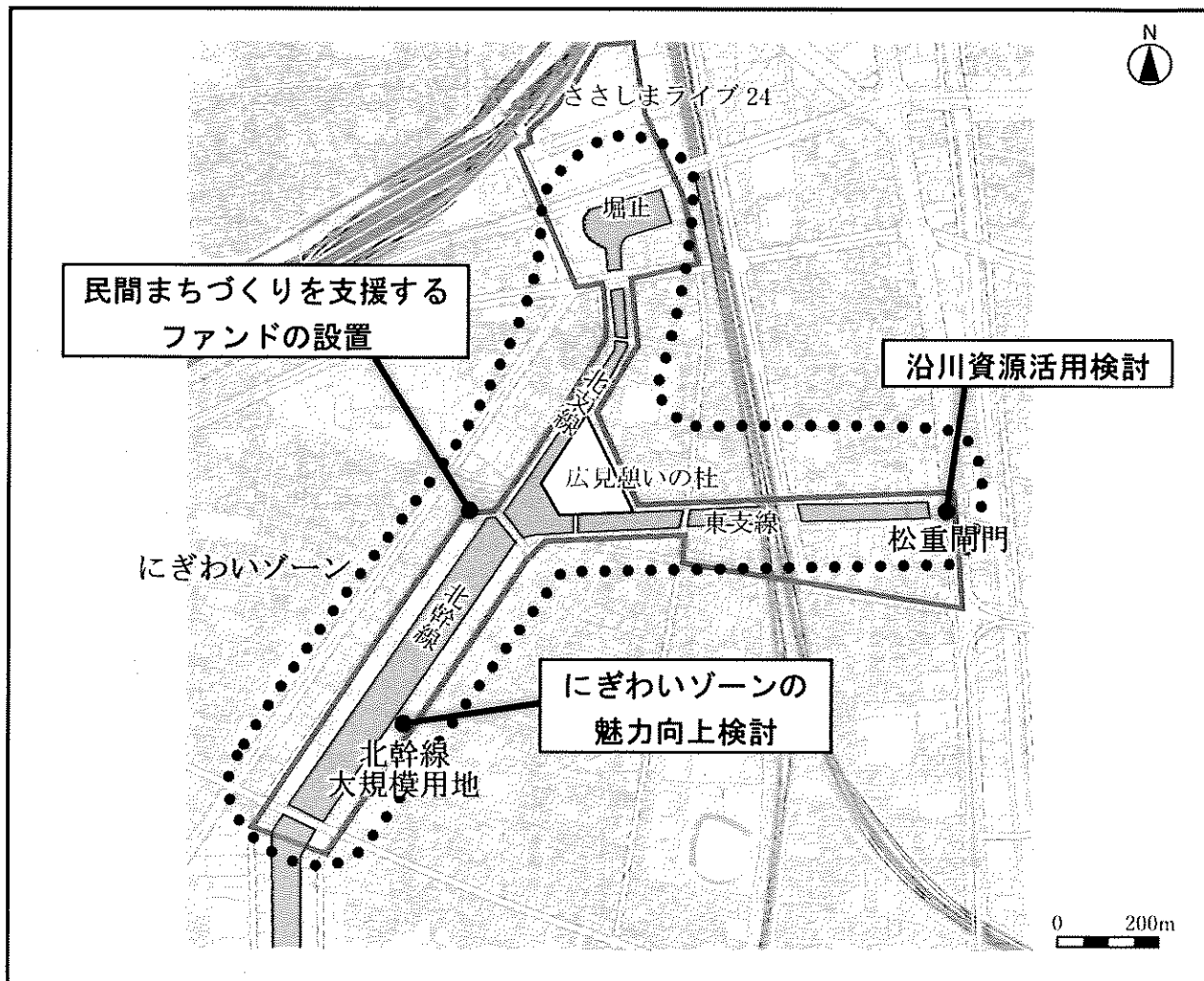
	頁
1 中川運河再生計画の推進について	1
(1) 決算額の内訳	1
(2) 主な事業箇所図	2
2 堀止地区の開発について	3
(1) 公募の概要	3
(2) 周辺図等	3
(3) 開発事業者の提案内容	4
3 中川運河における水上交通の推進について	5
(1) 目的	5
(2) 決算額の内訳	5
(3) 令和5年度の乗船実績	5
(4) アンケート回答者の属性	6
(5) 乗船者数の増加に向けた令和5年度の取り組み	6
(6) 運航開始以降の乗船者数の推移	7
(7) これまでの運航で見えてきた課題	7
4 ガイドウェイバス志段味線への自動運転技術導入検討について	8
(1) 令和5年度の主な検討内容	8
(2) 自動運転技術導入に向けた主な課題	8
5 土地区画整理事業の進捗状況等について	9
(1) 市施行の土地区画整理事業	9
(2) 組合施行の土地区画整理事業	9
6 分譲マンションの適切な維持管理等の支援について	10
(1) 管理状況の届出実績	10
(2) 管理状況の主な届出内容	10
(3) 令和5年度の方譲マンションの特別相談及び専門家派遣の実施件数	11
ア 特別相談	11
イ 専門家派遣	11

1 中川運河再生計画の推進について

(1) 決算額の内訳

事 項	主な内容	決算額
民間まちづくりを支援するファンドの設置	名古屋まちづくり公社に設置した「中川運河再生ファンド」への資金拠出等	円 409,559,918
にぎわいゾーンの魅力向上検討	交流創造拠点形成に向けた手法検討等	6,000,000
沿川資源活用検討	松重閘門周辺エリアの再生に向けた方針検討等	4,400,000
再生計画の進行管理等	再生計画更新経費及び運河用地の維持管理経費等	2,494,790
合 計		422,454,708

(2) 主な事業箇所図



2 堀止地区の開発について

(1) 公募の概要

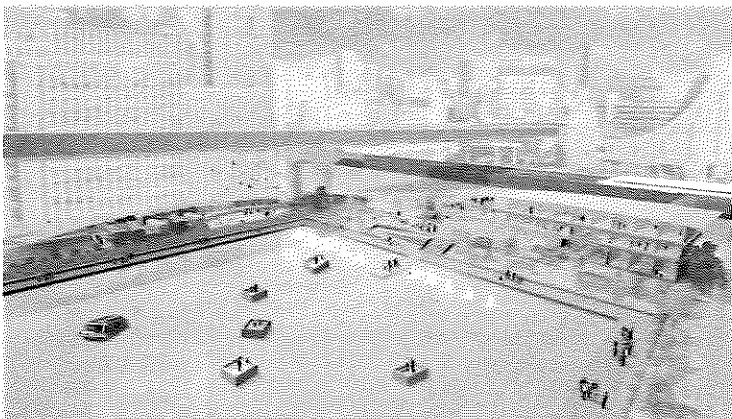
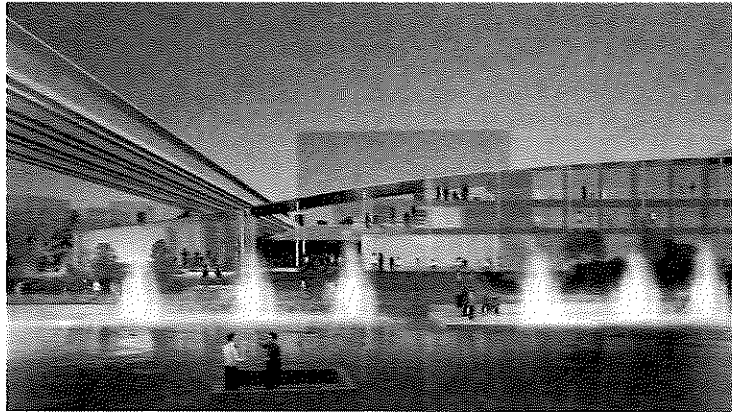
趣 旨	名古屋駅周辺のにぎわいを中川運河へ誘導するエリアとして、「運河の憩いやにぎわいの創出」「水辺空間の活性化」等に資する施設を整備し、魅力ある水辺空間を創出する。
求 め る 機 能	1 中川運河を活用したにぎわい、憩いの創出 2 水辺空間の活性化に資する活用策 3 交流・創造活動への貢献
対象敷地の取扱い	対象敷地は、開発事業者に貸付等とする。

(2) 周辺図等

用 地	敷 地		面 積	所有者
A	仮換地12ブロック2番、12ブロック3番		2,389㎡	名古屋市
B	名古屋高速 5号万場線 高架下	仮換地12ブロック1番	802㎡	名古屋高速 道路公社
C		仮換地12ブロック1番以外	2,685㎡	名古屋市
D	水面		約2,400㎡	名古屋市

(注) 水面Dの面積は、概ねの範囲を示したもの

(3) 開発事業者の提案内容

開発事業者	代表法人	名古屋ステーション開発株式会社
	構 成 員	中部土木株式会社、有限会社マル・アーキテクチャ
開発コンセプト		NAKAGAWA CANAL DOORS ～そこに集う誰もが、新しい扉を開き、都心の賑わいと憩いの水辺空間を創出します～
提案概要	用地 A (東側市有地)	キャナル・ルーフ (大屋根)、ホテル、カフェ・レストラン、キャナル・ウォーク (遊歩道)、モビリティポート等
	用地 B・C (名古屋高速 5 号万場線高架下)	キャナル・ルーフ (大屋根)、トレーラー屋台村、コミュニティ広場、イベントビーチ等
	水面 D (中川運河)	栈橋、噴水、水上アクティビティ
提案施設の 外観イメージ		 【外観イメージパース (俯瞰)】  【外観イメージパース (夜景)】

(注) 提案施設の外観イメージは令和 5 年 9 月時点のもの

3 中川運河における水上交通の推進について

(1) 目的

水上交通を運航することにより、みなと・都心間や各拠点間の回遊性を高め、周辺施設と連携することで、みなとエリア全体の魅力向上を図る。

(2) 決算額の内訳

事 項	主 な 内 容	決 算 額
運 航	・船舶の運航 ・乗船場の運営	円 38,121,600
分 析 調 査	・アンケート調査 ・乗船実績の分析等	4,257,000
総 合 的 な 企 画 ・ 広 報	・チラシ ・船内企画 ・映像制作等	9,864,066
合 計		52,242,666

(3) 令和5年度の乗船実績

項 目	期 間	乗船者数	運航日数	平均乗船者数
		人	日	人／日
春ダイヤ	令和5年4月1日 ～令和5年6月25日	3,777	27	139.9
夏ダイヤ	令和5年7月1日 ～令和5年9月24日	3,146	29	108.5
秋ダイヤ	令和5年10月7日 ～令和5年12月24日	2,754	26	105.9
冬ダイヤ	令和5年12月29日 ～令和6年3月30日	1,744	35	49.8
特 別 便	令和5年7月17日、 11月4日、12月9日	226	3	75.3
合 計	—	11,647	118	98.7

(注) 運航日数については、特別便と定期便の実施日が2日重複するため、合計欄の運航日数はそれぞれの項目の合計よりも2日少ない。

(4) アンケート回答者の属性

分 類	区 分	割 合
性 別	男 性	46.4%
	女 性	53.2
	そ の 他	0.4
年 齢 層	20歳未満	3.8
	20～39歳	24.1
	40～59歳	41.6
	60歳以上	30.5
居 住 地	名 古 屋 市	44.6
	愛知県（名古屋市外）	23.6
	そ の 他	31.8

備考 対象は小学生以上の乗客

(5) 乗船者数の増加に向けた令和5年度の取り組み

事 項	主 な 内 容
広 報	・チラシ、ポスター等の作成・配架 ・SNS、デジタルサイネージ等を活用した情報発信
連 携	・乗船場周辺施設等との相互優待 ・プリンスホテルなどの周辺施設との連携特別便
魅力向上	・音楽家による演奏やガイドなどの船内企画の実施 ・イマーシブクルーズ（観客参加型「没入」演劇の開催）の実施

(6) 運航開始以降の乗船者数の推移

年 度	乗 船 者 数
	人
平成29年度	6, 0 0 2
平成30年度	1 4, 9 4 2
令和元年度	1 2, 9 4 3
令和2年度	3, 6 5 8
令和3年度	5, 4 5 3
令和4年度	1 0, 0 1 4
令和5年度	1 1, 6 4 7

(注) 1 平成29年度は、10月8日から運航開始

2 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月29日～5月31日の間は運航休止、令和2年6月1日～令和4年6月30日の間は定員を半数程度に制限し運航

(7) これまでの運航で見えてきた課題

- ・認知度の向上
- ・収益性の確保

4 ガイドウェイバス志段味線への自動運転技術導入検討について

(1) 令和5年度の主な検討内容

区 分	内 容
車 両	・ 高架区間で自動運転バスを運行する上での課題や対応について、自動運転バス関係企業や研究機関と意見交換 ・ 大型の自動運転バスを借用し、閉鎖空間で実験走行を実施
走 行 路	現状の案内レールのある軌道からバス専用道にするにあたり、必要な断面構成や構造基準への対応を検討

(2) 自動運転技術導入に向けた主な課題

区 分	課 題
車 両	幅員の狭い高架区間において、強風時などを含めた安全性やサービス水準の確保が必要
走 行 路	自動運転バスが安全に走行するには、既存の案内レール撤去や側壁の取替が必要

5 土地区画整理事業の進捗状況等について

(1) 市施行の土地区画整理事業

地 区	地区面積	事業認可 年 度	事業認可 からの 経過年数	完了予定 年 度	進 捗 率
大 曾 根 北	30.0ha	昭和59年度	40年目	令和7年度	98.1%
筒 井	15.7ha	昭和61年度	38年目	令和6年度	92.5%
大 高 駅 前	9.7ha	平成4年度	32年目	令和10年度	90.5%
さ さ し ま ラ イ ブ 2 4	22.1ha	平成11年度	25年目	令和9年度	98.5%

備考1 令和6年3月31日現在

2 換地処分した地区を除く

(注)1 完了予定年度は、現行の事業計画によるもの

2 進捗率は、事業費ベースによるもの

(2) 組合施行の土地区画整理事業

地 区	地区面積	事業認可 年 度	事業認可 からの 経過年数	完了予定 年 度	進 捗 率
上 志 段 味	194.9ha	平成5年度	31年目	令和11年度	90.3%
中 志 段 味	147.7ha	平成7年度	29年目	令和30年度	37.8%
茶 屋 新 田	147.5ha	平成19年度	17年目	令和8年度	94.5%
千 音 寺	43.3ha	平成23年度	13年目	令和9年度	75.1%

備考 令和6年3月31日現在

(注)1 完了予定年度は、現行の事業計画によるもの

2 進捗率は、事業費ベースによるもの

6 分譲マンションの適切な維持管理等の支援について

(1) 管理状況の届出実績

全棟数	6, 132棟
届出棟数	5, 219棟
届出率	85. 1%

備考 令和6年3月31日現在

(2) 管理状況の主な届出内容

事 項	あ り	な し	無回答・不明	合 計
	棟	棟	棟	棟
管 理 規 約	5, 064	26	129	5, 219
年1回以上の 総 会 開 催	5, 128	37	54	5, 219
長期修繕計画	4, 244	729	246	5, 219
修 繕 積 立 金	4, 862	56	301	5, 219
築20年以上の マンションの 大 規 模 修 繕	3, 792	115	134	4, 041

備考 令和6年3月31日現在

(3) 令和5年度の分譲マンションの特別相談及び専門家派遣の実施件数

ア 特別相談

実 施 件 数	139件
うち修繕積立金等 に関する相談件数	22件

イ 専門家派遣

実 施 件 数	29件
うち修繕積立金等 に関する相談件数	7件

